

# 令和 5 年度の主な環境施策について

# 目次

## 令和5年度の主な環境施策について

1. 脱炭素都市づくり	…	P. 3
2. 自然共生都市づくり	…	P. 15
3. 資源循環都市づくり	…	P. 18
4. 快適環境都市づくり	…	P. 24
5. 行動する人づくり	…	P. 27

### 凡例

**重** : プラン重点プロジェクトに該当する事業

**新** : 令和5年度新規事業

下線部 : 令和5年度拡充

# 1.脱炭素都市づくり

## 重 (1) 家庭における温室効果ガス排出削減の推進

家庭からの温室効果ガス排出量の削減に向け、再エネ設備の普及や、住宅の省エネ化等を推進する。

## 新 ・ (仮称) おうちのゼロカーボンまると応援パッケージ

家庭における温室効果ガス排出削減をより一層進めるため、一人ひとりが地球温暖化を自分事として捉え、日常生活において今まで以上に取り組んでいただけるよう、本市の家庭向け施策を拡充した上でパッケージ化し、市民に分かりやすく発信する。



▲補助事業等を活用した住宅のイメージ図

### <パッケージ掲載事業>

- ① (仮称) せんだい健幸省エネ住宅補助金
- ② (仮称) 熱利用システム導入支援補助金
- ③ 省エネ家電買い替えキャンペーン
- ④ 初期費用ゼロ太陽光発電システム導入補助金
- ⑤ 太陽光発電・蓄電池の共同購入
- ⑥ V2H充放電設備設置費補助金

# 1.脱炭素都市づくり

## 重 (1) 家庭における温室効果ガス排出削減の推進

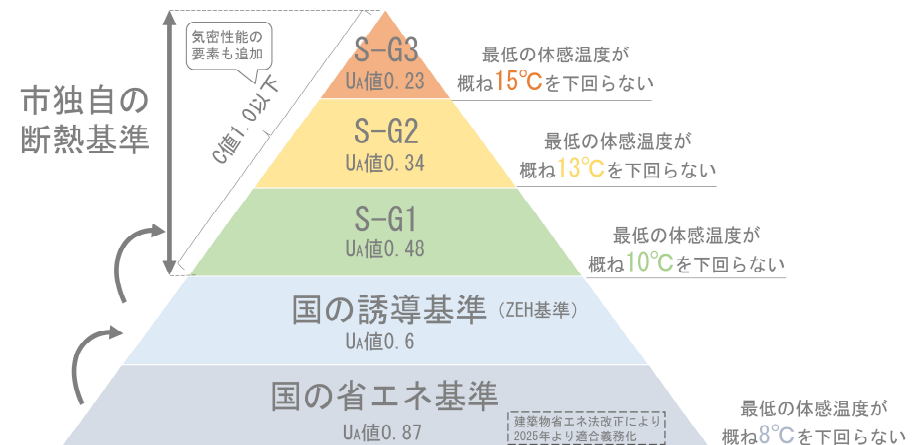
### 新 ・ (仮称) おうちのゼロカーボンまるっと応援パッケージ

#### 新 ① (仮称) せんだい健幸省エネ住宅補助金

新たに、国の省エネ基準を上回る市独自の断熱基準を満たす住宅への補助制度を創設する。令和4年度まで実施していた「熱エネルギー有効活用支援補助金」と「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス普及促進補助金」については、拡充・見直しを行った上で、本補助制度に統合する。

本市独自の断熱基準 (断熱性能に応じて 3段階で設定)	外皮平均熱貫流率 U <sub>A</sub> 値 (※) [W/m <sup>2</sup> K]
S-G3	0.23以下
S-G2	0.34以下
S-G1	0.48以下

▲市独自の断熱基準



▲国の基準と市独自の断熱基準

※外皮平均熱貫流率 (U<sub>A</sub>値) …住宅の内部から床、外壁、屋根 (天井) や開口部などを通過して外部へ逃げる熱量を外皮全体で平均した値のことであり、数値が低いほど性能が良いことを示す。

# 1.脱炭素都市づくり

## 重 (1) 家庭における温室効果ガス排出削減の推進

### 新 ・ (仮称) おうちのゼロカーボンまるっと応援パッケージ

#### ② (仮称) 熱利用システム導入支援補助金

住宅への家庭用燃料電池（エネファーム）や太陽熱利用システム等導入に対する補助を実施する。



▲エネファーム

#### ③ 省エネ家電買い替えキャンペーン

古い家電を省エネ性能の高い家電へ買い替えた方に、抽選で温泉宿泊券等の景品が当たるキャンペーンを実施。

対象家電は、家庭における電気使用量の割合が高い冷蔵庫及びエアコンとし、買い替えを促進する。

令和5年度は予算額を拡充し、当選者数を増やすことで、本事業への更なる参加につなげる。



▲R4啓発チラシ

# 1.脱炭素都市づくり

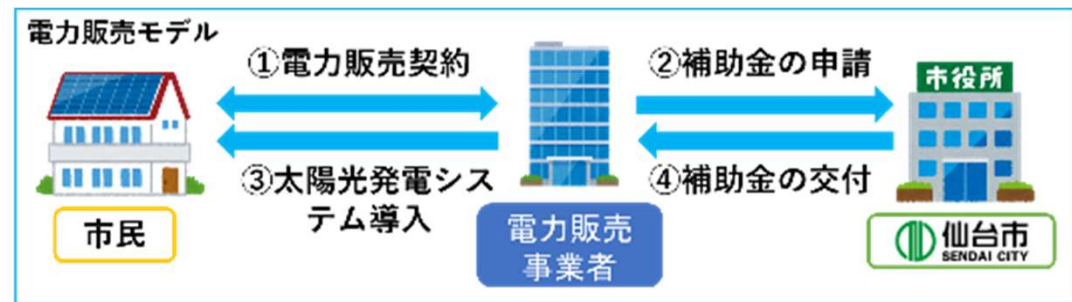
## 重 (1) 家庭における温室効果ガス排出削減の推進

### 新 ・ (仮称) おうちのゼロカーボンまるっと応援パッケージ

#### ④ 初期費用ゼロ太陽光発電システム導入補助金

初期費用なしで住宅の屋根等に太陽光発電や蓄電池を導入することができるサービスを提供する事業者に対し、本市が補助を行うことで、利用者の負担軽減を図る。

令和5年度は、更なる本事業の利用促進を図るため、補助額を引き上げる。



#### ⑤ 太陽光発電・蓄電池等の共同購入

本市と協定を締結した事業者（支援事業者）が、広く市民から購入希望者を募り、共同購入によるスケールメリットを活かし、市民が安心して市場価格より安価で導入できるよう、価格低減を図る。

仙台市

みんなの暮らしに太陽光

住宅向け太陽光パネル・蓄電池等の共同購入事業

電気代が上がっている今だからこそ太陽光を賢く使うチャンス！

28,700円

太陽光パネル 蓄電池

みんなで購入しませんか？

1 希望の申し込み

2 共同購入の申し込み

3 導入

4.7 ▶ 7.31

無料の事前登録をすると、ご自宅に導入した場合のお見積もりが確認できます。

R5 啓発チラシ

# 1.脱炭素都市づくり

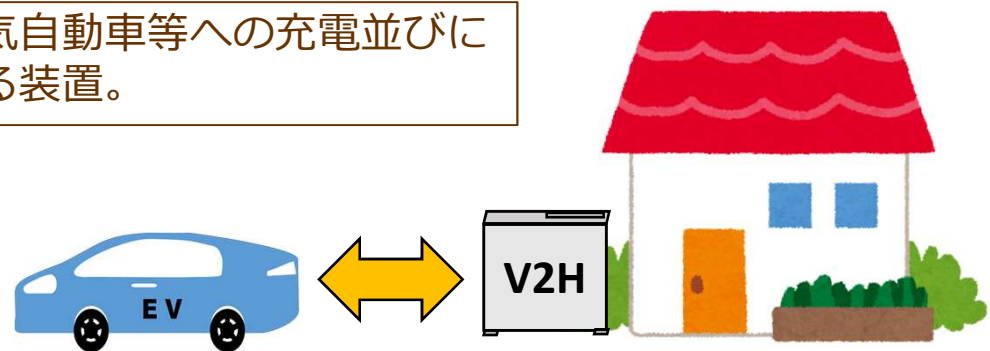
## 重 (1) 家庭における温室効果ガス排出削減の推進

### 新 ・ (仮称) おうちのゼロカーボンまるっと応援パッケージ

#### 新 ⑥V2H充放電設備導入支援補助金

平時における温室効果ガス排出削減と災害時のエネルギー途絶リスクに備えるため、住宅におけるV2H充放電設備導入に要する費用の一部を補助する(上限20万円)。

※V2H(ビークルトゥホーム)…電気自動車等への充電並びに電気自動車から住宅へ電気を供給できる装置。



▲V2Hイメージ図

#### ・高断熱住宅普及促進

「(仮称) せんだい健幸省エネ住宅補助金」による支援と併せ、関連団体と「(仮称) 仙台市高断熱住宅普及促進協議会」を設立し、市民向けの普及啓発や、地元工務店等の実務者の育成を推進する。

# 1.脱炭素都市づくり

## 重 (2) 温室効果ガス削減アクションプログラムの推進

市域の温室効果ガス排出量の約6割を占める事業活動からの排出を削減するため、「仙台市地球温暖化対策等の推進に関する条例」に基づき、事業者と市が協働して計画的な温室効果ガス排出削減を図る。

### ・一般事業者の参加促進

任意参加となる一般事業者向けの削減計画書の記載内容を簡素化し、参加促進を図る。

### ・中小企業者等向け補助金

令和5年度から、これまでの中小企業者等に加え、学校法人も補助対象とする。

#### ① 自家消費型太陽光発電設備導入への支援

太陽光発電設備の導入支援を拡充し、補助上限額を引き上げる。

#### ② 温室効果ガス削減設備導入への支援

省エネ・再エネ設備の導入を支援する。

#### ③ 次世代自動車導入への支援

運送事業者による次世代自動車の導入を支援する。また、運送事業者以外の中小企業者等を対象とした電気自動車等の導入を支援する。



▲ロゴマーク

【導入事例】



▲太陽光発電設備



▲省エネ設備 (LED照明)



▲次世代自動車



# 1.脱炭素都市づくり

## 重 新 (3) 「(仮称) 仙台市気候市民会議」の開催

「気候市民会議※」の手法を取り入れた市民参加型のワークショップを開催する。市民会議では、日常生活の中で取り組むべき行動等について議論いただき、その結果を踏まえ、「(仮称) 仙台市ゼロカーボンアクション」を策定する。



※気候市民会議…フランスの取り組みがきっかけとなって欧州を中心に広がっている会議手法。無作為抽出で社会の縮図を構成するように集まった一般の市民(数十人～約150人)が数週間から数か月かけて気候変動対策について話し合う。

## 重 (4) 木質バイオマス利用促進

未利用の間伐材や街路樹の剪定枝等の地域材がエネルギーとして利用され循環する仕組みを構築することを目指し、関係者による勉強会の開催等により、木質バイオマス利活用への理解を深めるとともに、事業実施に向けた検討を行う。



# 1.脱炭素都市づくり

## 重 (5) 防災対応型再生可能エネルギー導入

### ・ 防災対応型太陽光発電システム整備

環境負荷の低減とあわせ、防災性の向上を図るため、指定避難所等に導入した防災対応型太陽光発電システムを適切に運用する。



▲ 防災対応型太陽光発電システム

### ・ 防災対応型太陽光発電システムの遠隔監視・制御促進

既設システムの蓄電池制御プログラムを改修することにより、一元的な遠隔監視・制御等が可能となる高度なエネルギーマネジメントを推進する。

### ・ 民間施設再生可能エネルギー等導入

災害時において地域の防災拠点となりうる民間施設を対象として、太陽光発電設備等の導入費用に対し補助を実施する。

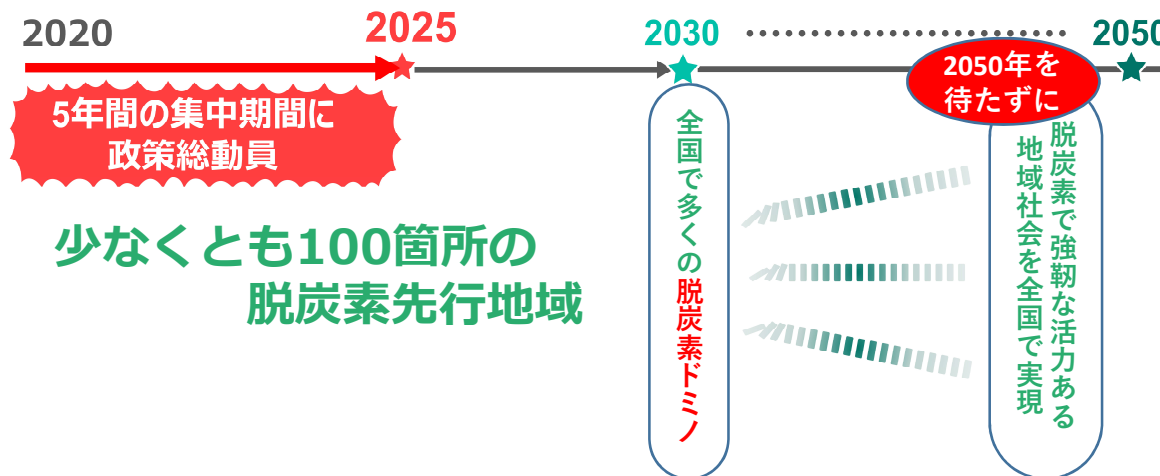
# 1.脱炭素都市づくり

## 重 (6) 次世代エネルギー創出促進等

企業や大学等との連携のもと、藻類を活用したバイオマスエネルギー等の創出などに向けた実証実験・研究開発を推進するとともに、エネルギー効率の高い地域モデルの形成等を図る。

## (7) 脱炭素先行地域への応募

脱炭素都市づくりの更なる推進に向け、家庭や事務所等での電力消費によるCO2の排出を2030年度までにゼロとする地域を全国で100箇所以上創出することを旨とする国の取り組みである「脱炭素先行地域」へ応募する。



# 1.脱炭素都市づくり

## 重 (8) 公共施設脱炭素化検討

公共施設におけるZEB化等の脱炭素化を推進するため、市有施設における太陽光発電設備の導入可能性や、新築（改築）・改修それぞれの施設用途に応じた調査・検討を行う。

令和5年度は、学校施設等の改築におけるZEB化に向けた基本設計や、学校以外の施設のZEB化に向けたシミュレーションを行い、方針の検討を行う。

※ZEB（ゼブ）…断熱性能を向上させるとともに再生可能エネルギーを導入することで、年間のエネルギー消費量の収支がゼロとなることを目指した建築物

## (9) 電動車等の導入推進

公用車の更新の際、走行時に二酸化炭素を排出しない電気自動車・燃料電池自動車・プラグインハイブリッド自動車などの電動車等の導入を推進する。

公用車の電気自動車などについては啓発用のラッピングを行い、電動車等の普及を図る。

令和5年度は電気自動車・プラグインハイブリッド自動車を計14台導入する。



▲電気自動車

# 1.脱炭素都市づくり

## 重(10) せんだいE-Action

市民・企業・行政が協働で、それぞれの強みを活かしながら3E（省エネ・創エネ・蓄エネ）を推進する。

イベント等での啓発活動の強化を図るとともに、動画やWebコンテンツの充実を図る。

### ・対面型イベントにおける啓発強化

新緑祭や緑化フェアなどのイベントへの出展や、商店街における打ち水のほかSDGsマルシェ等への、E-Action参加企業と連携した出展を通して対面型の3E啓発強化を図る。

### ・啓発動画や取り組みヒントの配信

E-Action参加企業やアクションプログラム参加企業の活動紹介や創エネに関する動画、無理せず取り組める省エネ行動の紹介などにより、幅広い層への3E行動の浸透を図る。

### ・緑のカーテンの推進

市民への種子配布や小学校、たまきさんサロンでの「緑のカーテン」の実践を通じ、身近で快適な環境行動を啓発を行う。



▲荒町商店街打ち水

# 1.脱炭素都市づくり

## **新** (11) 仙台市太陽光発電事業の健全かつ適正な導入、運用等の促進に関する条例

20kW以上の地上に設置する太陽光発電施設について、適正な設置からリユース・リサイクルに努めた廃棄に至るまでの手続きを定め、地域と共生する太陽光発電事業の普及促進を図ることを目的に、令和5年3月に制定・公布。土砂災害などの発生のおそれが高い区域や、動植物、景観などを特に保全すべき区域への設置については、原則禁止（市長の許可が必要）。

令和5年内の施行に向けた準備を進める。

## **新** (12) 家庭用除湿器等からのフロン回収体制構築に向けた実証事業

粗大ごみ処理施設に搬入される家庭用除湿器等から、温室効果の高いフロン類を、効率的かつ安全に回収する作業手順を確立するための実証事業を行う。



▲家庭用除湿器

## 2.自然共生都市づくり

### 重 (1) 生物多様性保全推進事業

身近な自然や生き物と直接触れ合い、その魅力や大切さについて学ぶ機会の充実や、生き物への関心を深める情報発信を図る。

#### ・ 生き物観察会などの開催

市街地近隣の清流に棲むカジカガエルや市の鳥カッコウ、市の虫スズムシなど仙台にゆかりのある生き物の観察会や、東部沿岸地域における生き物とその生息環境の再生状況を観察する講座などを実施する。

#### ・ 全国都市緑化仙台フェアでの発信

仙臺緑彩館でのパネル展示や、メイン会場近くの溪流におけるカジカガエル観察会などにより、本市の豊かな生物多様性を内外に発信する。



▲カジカガエル観察会



▲東部沿岸地域における  
生きもの観察会

## 2.自然共生都市づくり

### 重 (1) 生物多様性保全推進事業

#### ・ Webを活用した情報発信

仙台にゆかりのある生きものの動画や魅力を発信する記事の配信、音源ダウンロードや生息地マップの掲載などを実施する。

#### 新 ・ 生物多様性30by30への取り組み

2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として保全しようとする新たな世界的目標（30by30目標）を推進するため、国が本年4月から開始した「自然共生サイト※」の認定申請に向けた検討を進めるほか、30by30に関する市民への周知等を行う。

※自然共生サイト

民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域。

例：企業の森、防災林、都市緑地など



▲ Web情報発信



▲ 30by30 ロゴマーク



## 2.自然共生都市づくり

### (2) 野生鳥獣対策

#### ・市民への啓発

本市ホームページや仙台市AIチャットボットなどで野生鳥獣への対応策等をお知らせしているほか、特にクマについては、パネル展示や啓発動画の配信、クマ出没情報マップ等により啓発を実施。サル、イノシシについてもチラシ等による啓発を行う。



▲クマ啓発動画

#### ・ツキノワグマ対策

クマの出没状況に応じて、地域住民への注意喚起やメール・LINE配信、専門業者による現地調査、防御対策の助言等を行うほか、クマが市街地に留まるなど特に危険な場合には捕獲を実施する。

#### ・ニホンザル対策

ニホンザルの群れの行動範囲等を把握する調査を行い、効果的な追い上げ・捕獲を実施する。

#### ・イノシシ対策

県民の森周辺における市管理地への柵の設置を継続するほか、民有地への柵設置補助制度を実施する。

# 3.資源循環都市づくり

## 重 新 (1) プラスチック資源循環の推進

### ・製品プラスチック一括回収・リサイクル

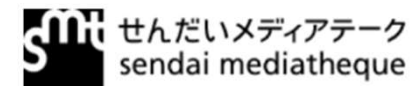
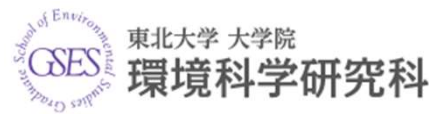
他の政令市に先駆け、製品プラスチックとプラスチック製容器包装の一括回収・リサイクルを全市で展開する。

### ・プラスチックごみの削減

プラスチックごみの削減に向け、ライフスタイルの変革を促す取り組みを市民・事業者と連携しながら進めるため、プラスチック資源循環について、技術や課題の“今”を学び“未来”を考える対話型イベントを開催する。



▲対話型イベントイメージ



アメニティ・せんだい  
推進協議会  
(事務局：仙台市)

## 3.資源循環都市づくり

### 重 (2) 食品ロス削減の推進

#### ・家庭での食品ロスの削減

食品ロス削減の実践行動を広く普及させるため、「せんだい食エコリーダー」による講座開催および啓発用ガイドブック第2版を作成する。

#### ・フードドライブの実施

家庭の未利用食品を集めてフードバンク団体等に提供するフードドライブについて、市内31か所に回収拠点を設置し、民間企業・団体の協力を得ながら食品の運搬を行うとともに、民間企業等が行うフードドライブ活動を支援する。

#### ・フードバンク活動への支援

本市が実施するフードドライブ事業に協力するなど食品ロスの削減に積極的に取り組み、かつ、食料の確保に困難を抱えた生活困窮者等に食料提供を行う団体の活動を助成する。



▲せんだい食エコリーダーによる講座



▲商業施設に設置した未利用食品回収箱

### 3.資源循環都市づくり

#### 重 (2) 食品ロス削減の推進

##### ・小売店等での食品ロスの削減

小売店等から生じる消費期限間近の食品等を消費者に割り引いて提供するマッチングサービスを活用し、食品ロスの削減とアフターコロナにおける小売店等支援を図る。



##### 新 ・飲食店等での食品ロスの削減

食べきりを推奨する3010運動を展開し、飲食関連事業者に対するチラシやポップの配布等により、食品ロス削減に向けた意識の啓発を行う。

## 3.資源循環都市づくり



### (3) 紙類分別排出の推進

家庭ごみに混入が多い「紙類」について、分別徹底を図りさらなる資源化を進めるため、排出方法を見直すとともに、周知広報を強化する。

#### **新**・排出方法の見直し

「雑がみ」を分別しやすいよう、紙袋のほか、ビニール袋や箱に入れての排出を可能とする。また「雑誌」を雑がみと一緒に出せるよう変更する。

#### ・周知広報の強化

雑がみの分別徹底を図るため、集積所等へのポスター掲出のほか、Webを通じて、紙類への関心を高めるコンテンツや、「雑がみの出し方」動画を配信する。

また、分別意識の向上に向け、エコフェスタ等で、雑がみを持ち寄ってもらい、持ち込み量に応じたプレゼント企画を実施する。

#### ・紙類の拠点回収

市民センター等の37か所に設置した資源回収庫、スーパー等128か所の紙類回収ステーションで拠点回収を実施。資源回収庫は3か所増設を予定。

## 3.資源循環都市づくり

### 新 (4) 全国都市緑化仙台フェアに係る環境美化の推進

緑化フェアやG7仙台科学技術大臣会合の開催に向け、きれいな街で来仙者を出迎え、本市の魅力を発信するための美化活動を実施する。



#### ・みんなでまちをきれいにしようキャンペーン

市民や企業に対し、期間中に任意の場所で清掃活動を実施していただくキャンペーンを実施する（キャンペーン期間：4/19～6/18）。

キャンペーン初日には、オープニングイベントとして、企業・団体や仙台まち美化サポーター等の参加のもと、一斉清掃やポイ捨て禁止の啓発パレードを実施。

#### ・事業ごみ早朝収集等の実施

フェア開催期間中、鳥獣被害や不適正排出を防止するため、まちなか会場エリアの定禅寺通等で、収集運搬事業者と共同で事業ごみの早朝収集（4時15分頃～）を行う。

また、散乱ごみ等に対応するため、環境事業所によるパトロールを実施する。

### 3.資源循環都市づくり

#### (5) 安全安心で安定的な処理体制の確保

##### ・適切なごみ処理体制の確保

ごみの収集効率や災害等のリスク分散に適した現在の3清掃工場の配置を生かして安定したごみ処理を継続して実施する。

##### ・基幹的設備改良工事

今後の安定的なごみ処理の確保を目的として、平成26～28年度に葛岡工場、平成29～令和2年度に今泉工場において、基幹的設備改良工事を実施。令和3～7年度に松森工場において工事を実施する。

#### 新(6) 今泉工場の建替え

令和13年度の稼働開始に向けて、今泉工場建替えの基本構想を策定する。

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
基本構想・計画	■									
発注準備		■								
新焼却施設建設				■						
新焼却施設稼働									■	



##### 性能の回復・向上

- ・老朽化した設備の補修や更新
- ・最新技術の導入

##### ライフサイクルコストの低減

- ・建替え周期の長期化

##### 使用電力の削減

- ・高効率、省エネ型機器の採用による電力の削減



安定したごみ処理体制の確保

## 4. 快適環境都市づくり

### (1) 快適な生活環境の保全

#### ・事業者に対する規制指導

大気・水・土壌や騒音・振動に係る関係法令に基づく規制指導により、公害被害の未然防止に努めるとともに、環境負荷の低減を図る。

#### ・環境基準達成状況把握のための調査

環境基準達成状況や環境の実態を把握するため、大気測定局におけるPM2.5モニタリングや、自動車交通騒音の調査、河川・海域・地下水等の水質及び底質に関する調査、地盤収縮量に関する調査等を、定期的に市内全域で実施する。

調査結果については、本市ホームページや冊子を通じて、広く市民に公表する。

#### ・有害化学物質への対応

関係法令に基づく規制や調査のほか、現状で施策が確立されていない未規制物質の調査や、災害・事故発生時の迅速な事業場聴取による被害の最小化に取り組む。

また、仙台港周辺環境調査など、地域的な環境汚染のおそれがあるものについて、安全確認を継続して実施する。



▲移動測定車による大気調査

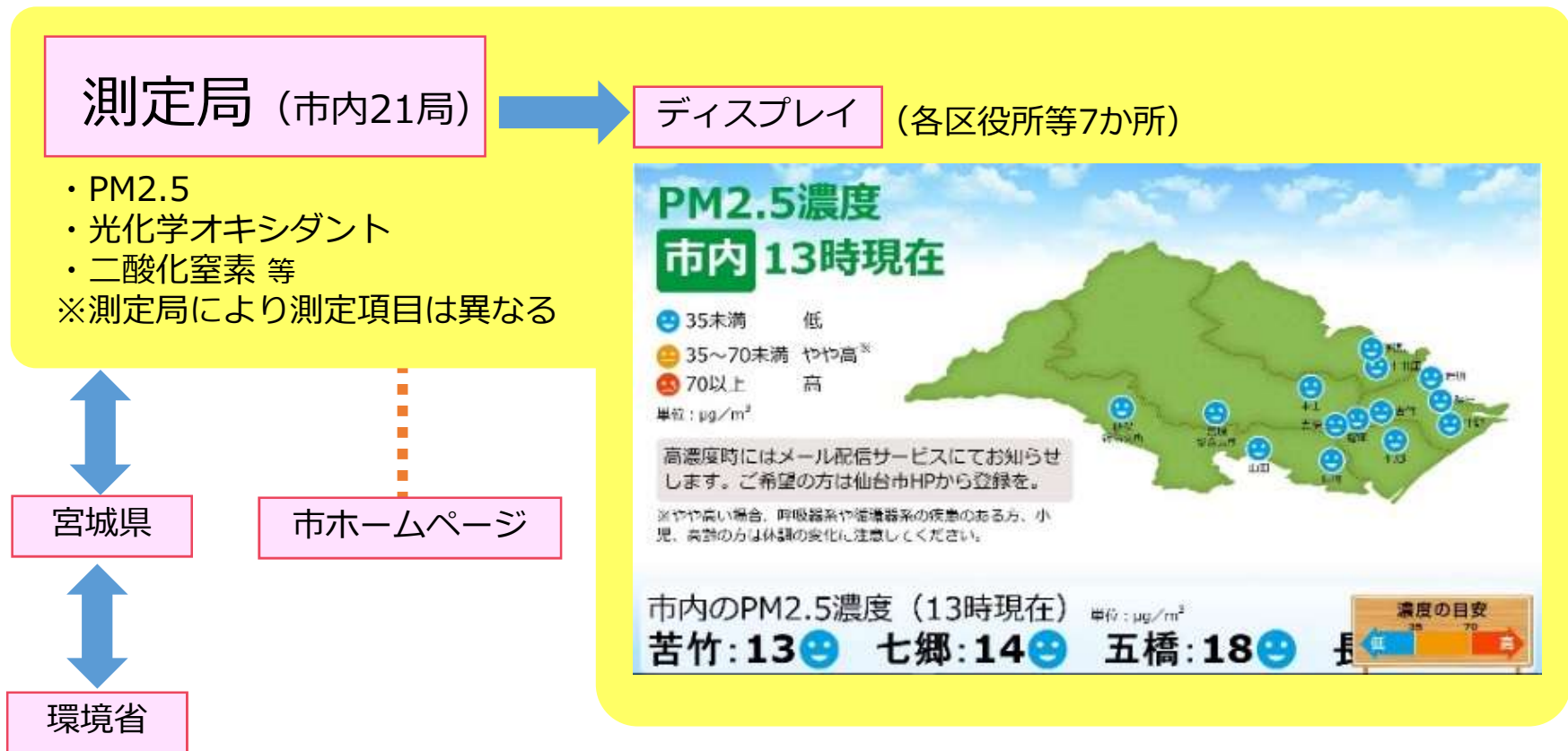


## 4. 快適環境都市づくり

### (1) 快適な生活環境の保全

#### ・ 大気環境情報の提供

市内の大気環境情報については、本市ホームページでのリアルタイムな提供に加え、各区役所・総合支所に設置したディスプレイでも提供する。



## 4. 快適環境都市づくり

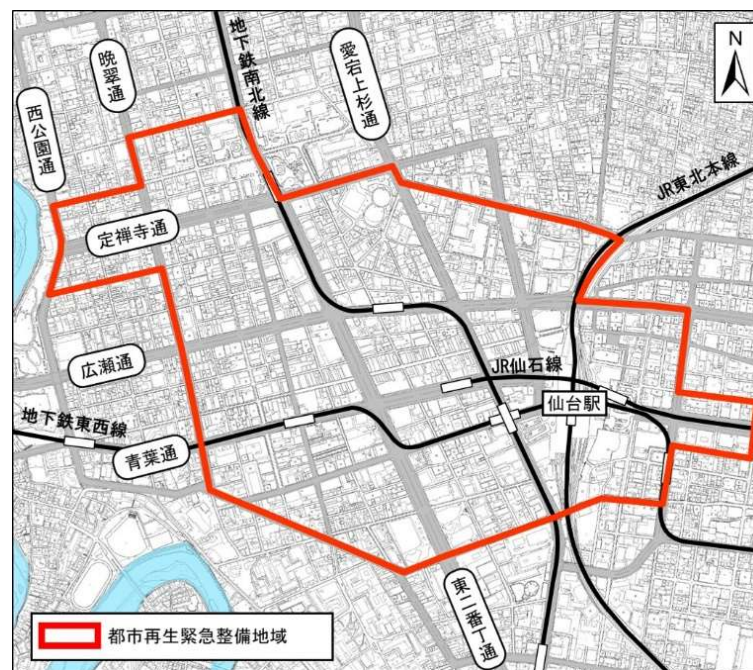
### (2) 開発事業における環境配慮の促進

快適で良好な生活環境の確保のため、令和3年4月に改定した環境影響評価制度等により、環境の保全及び創造に向けた事業者の自主的な取り組みを促す。

#### 重 ・グリーンビルディングの整備を促進するための方針

都市再生緊急整備地域における環境配慮型の建築物の整備を促進し、都心部における環境にやさしい魅力的な都市空間を創出。

「グリーンビルディングの整備を促進するための方針」の対象地域 ▶  
(都市再生緊急整備地域)



#### ・森林地域における太陽光発電事業の環境配慮に関する指導方針

森林地域に面積1haまたは400kW以上の太陽光発電設備を設置しようとする事業者に対し、事業計画の早期段階から適切な環境配慮を促す。

## 5.行動する人づくり

### 重 (1) 環境に関する学びの場の創出（たまきさんサロン）

「せんだい環境学習館たまきさんサロン」を拠点として、環境に関する情報の受発信や交流を促進する。

#### ・サロン講座

大学やNPO等から講師を招き、自然科学や民俗学など幅広い分野と環境の関わりを学べる講座を開催する。

#### ・環境学習図書や環境学習教材の提供

児童向けを含む環境関連書籍や雑誌等の貸し出し、また環境学習教材の展示を行う。

#### ・市民主体の環境行動や交流の促進

環境に関する勉強会やセミナー会場としてスペースを貸し出し、市民団体等による環境行動や交流を促進する。



▲たまきさんサロン講座



▲図書の提供

## 5.行動する人づくり

### 重(2) 多様な主体と連携した人材の育成

「杜の都の市民環境教育・学習推進会議（FEEL Sendai）」など、市民・NPO・学校・事業者・行政等の連携により、環境教育・学習を推進する。

#### ・学校や保育所等における環境学習

仙台の特色ある自然環境・社会環境を素材に、環境NPO等による、学校や保育所等を対象とした環境学習プログラムを実施する。

（杜々かんきょうレスキュー隊）

#### ・市民団体等による環境配慮行動の促進

市民やNPOとの連携や波及効果が期待できる企画を募集し実践を支援する。

（[環境社会実験]未来プロジェクトinせんだい）



▲小学校における環境教育

#### ・環境を考えるきっかけと交流の場の創出

環境フォーラムせんだいや各種イベントへの出展を通じ、参加した市民が環境配慮の大切さに気付き行動するきっかけを提供。

## 5.行動する人づくり

### 重 (3) 学都の強みを活かした人づくり

#### ・ せんだい環境学習講座

大学（東北大学、宮城教育大学、東北工業大学、宮城学院女子大学、東北文化学園大学）や環境関連団体が出向いて提供する講座の情報を集約し、学校や地域の方々へ情報発信と受講支援を行うことで、環境に関する専門的な知識や技能に触れる学びのネットワークを形成。



▲ せんだい環境学習講座を利用した環境学習の様子

#### ・ 東北大学大学院環境科学研究科との連携

東北大学大学院環境科学研究科と平成21年11月に締結した連携協定について、令和3年3月に見直しを行い、協力体制を強化。たまきさんサロンの開設や、本市職員による大学院での講義のほか、本市職員を対象とした研究活動説明会の実施など、脱炭素や資源循環分野の事業推進に連携して取り組んでいる。



▲ 連携協定に基づく学生への講義（市内リサイクル施設見学）の様子

## 5.行動する人づくり

### 重(4) 環境啓発・情報発信の強化

#### ・せんだい環境Webサイトたまきさんの活用

「せんだい環境Webサイトたまきさん」を通じて、杜の都環境プランに掲げる脱炭素、自然共生、資源循環、快適環境の各分野における市の取り組みや、行動を促すイベントやキャンペーン情報等を発信する。



▲Webサイトたまきさん

#### ・環境局公式Instagramアカウントによる情報発信

若い層を含めた幅広い層の環境配慮行動を促進するため、環境局公式Instagramアカウントを通じ、行動する人づくりに通じる気軽に取り組める環境にやさしい取り組みを発掘・発信する。



▲環境局Instagram

### 重(5) 3Rに主体的に取り組む担い手育成

「ワケルネット」のほか、ごみ分別アプリや仙台市公式LINE、AIチャットボットなどで、分別方法や排出ルールについてきめ細やかな情報発信に努める。

また、環境教育の推進に向け、町内会等を対象として、ワケルくんバスによる環境施設見学会を開催するとともに、クリーン仙台推進員制度の運用により、地域におけるごみ減量・リサイクルの担い手を育成する。